

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年1月29日
東

上場会社名	幼児活動研究会株式会社	上場取引所	東
コード番号	2152	URL	https://www.youji.co.jp
代表者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)山下 孝一	
問合せ先責任者	(役職名)取締役管理本部長	(氏名)川田 伸	(TEL)03-6685-0733
四半期報告書提出予定日	2021年1月29日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 有		
四半期決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の業績 (2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	3,792	△25.8	146	△83.7	464	△49.4	320	△46.8
2020年3月期第3四半期	5,109	2.3	900	4.3	918	4.5	601	5.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	29.63	—
2020年3月期第3四半期	51.45	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	9,896	6,922	70.0
2020年3月期	9,877	6,650	67.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 6,922百万円 2020年3月期 6,650百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期(予想)				11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,300	△21.1	300	△73.3	560	△51.1	380	△51.6	35.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	11,784,000株	2020年3月期	11,784,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	981,412株	2020年3月期	981,364株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	10,802,605株	2020年月期3Q	11,685,133株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、緊急事態宣言解除後、段階的に経済活動の再開が見られたものの、第2波、第3波が生じ、2021年1月に緊急事態宣言が再度発令され、経済活動は新型コロナウイルス感染症の動向に左右される状況が続いております。

このような状況の中で、当社は新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、主力である課外クラブが通常通り再開できるようになり、2020年12月には過去最高のクラブ員数を達成することができました。しかしながら、イベント企画業務に関しましては、一部再開はできたものの、総じて厳しい状況が続いております。

このような事業環境を背景に、当第3四半期累計期間における売上高は、3,792百万円（前年同四半期比25.8%減）、経常利益464百万円（前年同四半期比49.4%減）、四半期純利益320百万円（前年同四半期比46.8%減）となりました。

当第3四半期累計期間の1株当たり四半期純利益は29円63銭となりました。前第3四半期累計期間の1株当たり四半期純利益は51円45銭、前事業年度における1株当たり当期純利益は67円73銭でした。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 幼児体育指導関連事業

正課体育指導の実施会場数は前事業年度末の1,175園から16園増加し、当第3四半期会計期間末は1,191園となりました。

また当第3四半期会計期間末における課外体育指導の実施会場数及び会員数は、1,150カ所66,956名となりました。前事業年度末における課外体育指導の実施会場数及び会員数は、1,142カ所65,597名でした。

幼児体育指導関連事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、第2波、第3波の到来はあったものの、課外クラブが通常通り再開できるようになり、少しずつ回復の兆しは見えてきました。

その結果、幼児体育指導関連事業に係る売上高は3,583百万円（前年同四半期比26.5%減）、セグメント利益は76百万円（前年同四半期比90.6%減）となりました。

② コンサルティング関連事業

コンサルティング契約件数は、前事業年度末の245件から、当第3四半期会計期間末は228件となりました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当第1四半期会計期間末に一時落ち込んだものの、コンサルティング契約件数が少しずつ増加し、特別会員制度の継続やオンラインセミナーや個別経営指導を継続的に行ってきました。

その結果、コンサルティング関連事業に係る売上高は209百万円（前年同四半期比11.1%減）、セグメント利益は70百万円（前年同四半期比19.0%減）となりました。

(参考) 体育指導実施会場数及び会員数の動向

	2020年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2021年3月期	増減率(%)	
	第3四半期 (2019年12月末日)	(2020年3月末日)	第2四半期 (2020年9月末日)	第3四半期 (2020年12月末日)	(注)1	(注)2
幼児体育指導関連事業						
正課体育指導会場数	1,174	1,175	1,186	1,191	1.4	1.4
課外体育指導会場数	1,141	1,142	1,141	1,150	0.8	0.7
課外体育指導会員数(人)	65,793	65,597	63,033	66,956	1.8	2.1
コンサルティング関連事業						
コンサルティング契約件数	242	245	222	228	△5.8	△6.9

(注) 1. 2021年3月期第3四半期(2020年12月末日)の2020年3月期第3四半期(2019年12月末日)に対する増減率です。

2. 2021年3月期第3四半期(2020年12月末日)の2020年3月期(2020年3月末日)に対する増減率です。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産残高は9,896百万円となっており、前事業年度末に対して18百万円の増加となりました。

流動資産については、前事業年度末に対して45百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が117百万円減少する一方、売掛金が25百万円、未収入金が42百万円増加したためです。

固定資産については、前事業年度末に対して64百万円の増加となりました。これは主に、投資有価証券の時価評価額が164百万円増加し、繰延税金資産が56百万円、無形固定資産が26百万円減少したためです。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債残高は2,973百万円となっており、前事業年度末に対して253百万円の減少となりました。

流動負債については、前事業年度末に対して343百万円の減少となりました。これは主に、前受金が142百万円、賞与引当金が79百万円、未払金が50百万円、未払法人税等が32百万円減少したためです。

固定負債については、前事業年度末に対して89百万円の増加となりました。これは、退職給付引当金が89百万円増加したためです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産残高は、6,922百万円となっており、前事業年度末に対して、271百万円の増加となりました。これは、利益剰余金が158百万円、その他有価証券評価差額金が113百万円それぞれ増加したためです。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間末における現金及び現金同等物は、前第3四半期累計期間末より42百万円減少し、6,175百万円（前年同四半期比0.7%減）となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における営業活動の結果得られたキャッシュ・フローは、52百万円の収入となりました（前年同四半期は420百万円の収入）。これは営業利益146百万円、雇用調整助成金の受取額250百万円、運転資本の増加による支出189百万円、税金等の支出157百万円等に因るものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における投資活動の結果使用したキャッシュ・フローは、7百万円の支出となりました（前年同四半期は103百万円の支出）。これは設備投資7百万円の支出等に因るものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における財務活動の結果使用したキャッシュ・フローは、161百万円の支出となりました（前年同四半期は647百万円の支出）。これは、配当金の支払による支出161百万円等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想については、以下に示すとおりです。2020年10月30日に公表した数値と変更はありません。

2021年3月期の業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期	5,300	300	560	380	35 18
(参考) 前期実績 (2020年3月期)	6,729	1,122	1,145	785	67 73

なお、上記の業績予想については、当社が当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,292,424	6,175,257
売掛金	184,718	210,133
商品	2,085	1,941
貯蔵品	2,023	3,142
その他	92,173	136,714
貸倒引当金	△1,090	△212
流動資産合計	6,572,334	6,526,977
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	61,559	58,584
構築物（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	33,855	22,526
土地	236,334	236,334
有形固定資産合計	331,749	317,445
無形固定資産		
無形固定資産	180,966	154,131
投資その他の資産		
投資有価証券	1,834,378	1,998,614
繰延税金資産	529,714	473,178
保険積立金	270,392	270,392
投資不動産（純額）	82,100	82,100
その他	75,863	73,335
投資その他の資産合計	2,792,449	2,897,620
固定資産合計	3,305,165	3,369,198
資産合計	9,877,500	9,896,176

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	60,534	90,674
未払金	132,935	82,372
未払費用	34,596	21,748
未払法人税等	182,986	150,074
前受金	454,125	311,807
賞与引当金	176,897	97,255
その他	187,678	132,817
流動負債合計	1,229,753	886,748
固定負債		
退職給付引当金	1,726,891	1,816,620
長期末払金	270,288	270,288
固定負債合計	1,997,179	2,086,908
負債合計	3,226,933	2,973,657
純資産の部		
株主資本		
資本金	513,360	513,360
資本剰余金		
資本準備金	365,277	365,277
資本剰余金合計	365,277	365,277
利益剰余金		
利益準備金	15,666	15,666
その他利益剰余金	6,469,097	6,627,146
利益剰余金合計	6,484,764	6,642,812
自己株式	△907,013	△907,057
株主資本合計	6,456,387	6,614,392
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	194,179	308,126
評価・換算差額等合計	194,179	308,126
純資産合計	6,650,567	6,922,518
負債純資産合計	9,877,500	9,896,176

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	5,109,998	3,792,845
売上原価	3,409,730	2,891,471
売上総利益	1,700,268	901,373
販売費及び一般管理費	799,988	754,744
営業利益	900,280	146,628
営業外収益		
受取利息	1,063	1,065
受取配当金	11,854	10,534
受取手数料	1,582	1,301
補助金収入	—	16,684
雇用調整助成金	—	284,433
その他	5,124	4,169
営業外収益合計	19,624	318,189
営業外費用		
支払利息	707	—
支払手数料	359	—
その他	703	699
営業外費用合計	1,770	699
経常利益	918,134	464,118
税引前四半期純利益	918,134	464,118
法人税、住民税及び事業税	306,568	137,783
法人税等調整額	10,347	6,247
法人税等合計	316,916	144,030
四半期純利益	601,217	320,088

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	918,134	464,118
減価償却費	36,880	48,260
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	990	△878
受取利息及び受取配当金	△12,917	△11,600
雇用調整助成金	—	△284,433
支払利息	707	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△17,537	△25,415
商品の増減額 (△は増加)	△318	143
貯蔵品の増減額 (△は増加)	△246	△1,118
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△72,096	△10,388
仕入債務の増減額 (△は減少)	14,032	30,139
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△82,504	△79,642
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	101,090	89,728
前受金の増減額 (△は減少)	75,427	△142,318
未払金の増減額 (△は減少)	△70,214	△51,004
未払消費税等の増減額 (△は減少)	11,535	△16,540
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△19,212	△64,711
その他	△563	3,135
小計	883,188	△52,524
利息及び配当金の受取額	12,917	11,600
雇用調整助成金の受取額	—	250,281
利息の支払額	△1,431	—
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△474,088	△157,152
営業活動によるキャッシュ・フロー	420,586	52,205
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△28,473	△2,090
無形固定資産の取得による支出	△82,381	△4,980
その他	7,261	△659
投資活動によるキャッシュ・フロー	△103,592	△7,729
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	△300,000	—
自己株式の取得による支出	△182,622	△44
配当金の支払額	△164,798	△161,598
財務活動によるキャッシュ・フロー	△647,421	△161,642
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△330,427	△117,166
現金及び現金同等物の期首残高	6,548,032	6,292,424
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,217,605	6,175,257

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積りについてに記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	幼児体育指導 関連事業	コンサルティング 関連事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	4,874,377	235,621	5,109,998
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	4,874,377	235,621	5,109,998
セグメント利益	813,653	86,627	900,280

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	幼児体育指導 関連事業	コンサルティング 関連事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	3,583,281	209,563	3,792,845
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,583,281	209,563	3,792,845
セグメント利益	76,455	70,172	146,628

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。